

「第1回北関東救急看護研究会 教育セミナー」を終えて

令和3年6月19日に「口腔ケアの方法は今」というテーマで教育セミナーをオンラインで開催しました。参加者数は47名（会員15名、非会員32名）と多くの方にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、5名の方からたいへん興味深い話を発表していただきました。

「看護学基礎教育における口腔ケア教育の現状と今後の期待」というテーマでご発表いただいた、和洋女子大学看護学部看護学科 段ノ上 秀雄先生からは、発表pptをご提供いただきました。

→ 閲覧される方は、セミナーの模様ページにアクセスください

「院内や救命病棟での教育・ケアの実際」というテーマでご発表いただいた、獨協医科大学病院 中田 哲也先生からは、発表概要をご提供いただきました。

院内や救命病棟での教育・ケアの実際

獨協医科大学病院 中田 哲也

当院では、リンクナース制度を用いて口腔ケアに関する教育と課題の把握・対応を行なっている。新人看護師への教育として、集合教育による口腔ケアの体験型学習を用いていたが、新型コロナウイルスの流行をうけ、オンラインによる教育と部署内での口腔ケアモデルを用いた教育へ変更となった。

2021年2月に「気管挿管患者の口腔ケア実践ガイド」が発表され、救命救急センターでの口腔ケア方法と教育方法について、見直しを行う必要があると考える。

発表後の質疑応答では、参加者から様々な質問があり、発表者との有意義なディスカッションや明日からのケアに活かせる情報の共有ができました。

今回の教育セミナーは、毎日行っている「口腔ケア」について、あらためて日々の実践とその必要性について考え直す機会となりました。

次回は**2022年1月22日（土）14時からオンラインでの開催を予定**しています。詳細は、随時、本研究会ホームページでお知らせいたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

事務局 第1回教育セミナー担当